

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		消防施設設置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名	後藤一男					
	施策	1	危機管理・防災対策の推進		所属課	総務課	担当者名	田代純児					
	基本事業	1	災害の未然防止対策		所属班	交通防災班	(内線)	1225					
法令根拠		消防法 合志市消防施設整備費補助金交付要綱											
予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業連番	10010	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	1
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		S39	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)	コスト削減優先度評価結果	7		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 【事業の内容】消防法による消防水利が不足している地域に対し防火水槽並びに消火栓の設置を行う。また、設置については水道事業並びに開発行為において設置指示を行う方法も採用している。また、地区が設置した消防施設について、補助金を交付している。 【業務の流れ】 防火水槽:計画、設計、工事指示管理、検査、支払い 消火栓:水道業務と連携した計画、完了後の検査、支払い 開発業者の設置:業者への指示、検査 補助金の交付支払事務 【主な予算費目】 工事請負費 備品購入費 負担金補助及び交付金													

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 防火水槽(40t) 1箇所設置した 水道新設工事に併せ消火栓を設置した 開発協議において防火水槽又は消火栓の設置の指導を行った 消防施設の整備を行なった区について、補助金を交付した。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 箇所 → ア 防火水槽設置数 イ 消火栓設置数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 消防水利	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 箇所 → ア 消防水利数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 未整備地区に設置する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 箇所 → ア 前年度より増加した消防水利数 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 災害の備えることができる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 公的機関の耐震化率 イ 危険箇所の未整備箇所数

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	16,500	17,200	12,200	11,900	16,700	16,700		16,700
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	17,658	14,423	11,427	8,595	8,273	8,273	8,273		
	(A) 事業費計	千円	34,158	31,623	23,627	20,495	24,973	24,973	24,973		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	5	5	5		5
延べ業務時間	時間		90	90	190	190	190	190			
(B)人件費計	千円	0	358	358	756	756	756	756			
トータルコスト(A)+(B)	千円	34,158	31,981	23,985	21,251	25,729	25,729	25,729			
活動指標	ア 箇所 イ 箇所		1 8	1 4	1 4	1 2	1 2	1 2	1 2	目 標 合 計 値 画 22 年 度 97.8 31	
対象指標	ア 箇所 イ 台		770 770	784 784	798 798	805 805	812 812	826 826	840 840		
成果指標	ア 箇所 イ 台		9 9	15 15	10 10	7 7	7 7	14 14	14 14		
上位成果指標	ア % イ 箇所		90.2 32	90.3 32	90.3 32	89.9 32	95.7 31	97.8 31	97.8 31		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和39年消防法で消防水利基準が定められ、同時期に旧町においても対応を行ってきた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
5年前と比べ団地造成が頻繁に進み住宅が増加傾向にある
防火水槽設置のための用地確保が困難になりつつある。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	消防施設設置事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「(消防水利を)未整備地区に設置する」ことにより、結果「災害に備えることが出来る」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 消防法第20条により消防水利は当該市町村で設置するものと定められているので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象と意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 防災計画にある「消防施設強化促進計画」に基づき進めており、消防水利の未整備地区に、計画的に水利を設置していくことで、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 既存のままの消防水利では、未整備地区又は増加する世帯に対して対応できないことも想定され、消火活動に支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 消防水利については、計画に基づき事業を進めており、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 整備については知識を必要とするため委託等はできないので削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 消防水利は市全域にわたり、未整備地区を整備していくもので、公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効性については、今後も計画に基づき、消防水利の設置を進めていく。												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 未整備地区に計画的に水利を設置する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 防火水槽については、なかなか用地の確保ができず、地権者の理解が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	4	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	10	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)